

報道関係各位

件 名 飯能市と学校法人自由学園の連携による森林整備に関する
協定の締結について

1 概要

飯能市（以下「市」という。）と学校法人自由学園（以下「学園」という。）は、市と学園が連携し、森林認証林としての森林整備・管理、森林の針広混交林化、木材の利用、森林環境教育等に関する各種事業を実施することにより、森林の持つ多面的機能の発揮及び森林環境教育の推進を図ることを目的として、森林整備に関する協定を本日締結しましたので、ご報告いたします。

2 内容

（1）これまでの経緯等

学園は、昭和25年から旧名栗村において、代々の男子部高等科生が植林・育林活動を行ってきています。名栗植林地（11.55ヘクタール）は、市から学園が土地を借り受け、育てた木の売却金を分け合う分収林として契約している土地で、市と学園はこれまで交流を進めてきました。

また、市は、平成29年度に策定した第6次飯能市森林整備計画に「森林機能の最適化プロジェクト」を位置付け、市主体による継続的な森林整備により、市の森林の林相を針広混交林等へと転換し、もって公益的機能の向上を図ることを目指しています。

本プロジェクトの最終到達点である針広混交林の造成については、他地域における小規模森林の研究事例はあるものの、本地域や大規模森林における研究事例はないため、本地域における針広混交林化の手法を調査・研究する必要がありました。

そこで、分収林制度等に基づき、長きにわたり本市の森林の管理を担ってきた学園と市が更なる連携を図り、森林整備及び森林を活用した教育活動等を推進していくことが、市の森林・林業政策の推進に有効と考えられることから、協定を締結することにいたしました。

(2) 連携事項等

今回の協定の中に盛り込まれた連携事項は、次のとおりです。

①森林整備等に関する事項

- ・森林整備・管理
- ・奉仕活動

②林業体験学習及び森林環境教育に関する事項

- ・林業体験学習
- ・森林環境教育

③その他森林の多角的利用に関する事項

- ・林産物利用
- ・運動・レクリエーション
- ・その他

本協定の目的を達成するための具体的な事業については、今後、市と学園が協議の上順次取組を進め、森林の持つ多面的機能の発揮を目指してまいります。



左：大久保 勝 飯能市長 右：高橋和也 学校法人自由学園学園長

担当者	森林づくり推進課長 吉澤
連絡先	TEL 973-2111 内線600